

## 一般質問

議員7人

## 町政を問う

3月定例会の一般質問は8、11日に行われました。  
紙面の都合により要約してお伝えします。  
なお、詳しい内容は吉岡町図書館に  
備えてある会議録で確認できます。  
また、平成21年第1回定例会以降の会議録は、  
吉岡町ホームページでもご覧になれます。

一般質問は、執行機関が提出した  
議案と関係なく、町の行政全般にわたって、  
議員個人が執行機関に質問し、  
見解を求めるものです。  
吉岡町では、質問および答弁をあわせて、  
1人60分以内の持ち時間があります。

## ■柴崎 徳一郎議員（17ページ）

1. 仮称南下城山防災公園について
2. 危機管理対策について
3. コンパクトなまちづくりについて
4. 障害者施策の推進方について
5. シェアリングエコノミー活用推進事業について

## ■金谷 康弘議員（18ページ）

1. デ・レイケ堰堤（砂防ダム）の保全について
  - （1）防災（治山・砂防）的観点より
  - （2）文化財的観点より
  - （3）教育（防災・減災）的観点より
  - （4）地域振興的観点より

## ■岩崎 信幸議員（19ページ）

1. 空家対策について
2. 公共交通について
3. 不登校への対応は
4. 道の駅よしおか温泉の今後を危惧
5. 手話言語条例の制定を求む
6. 通学路の安全対策を

## ■坂田 一広議員（20ページ）

1. 町の財政について
2. 町道について

## ■飯島 衛議員（21ページ）

1. あんしんカードの利活用について
2. 行政サービスの利便性のために ICT 化の促進を
3. 防犯灯の計画的な増設を
4. 所有者不明の墓地について

## ■五十嵐 善一議員（22ページ）

1. 水道事業に関して
2. 防災・減災に関して
3. 学校教育に関して

## ■小池 春雄議員（23ページ）

1. 障害者、高齢者対策
2. 奨学金制度
3. ふるさと納税

## インターネット配信中です

本会議の様子を生中継、録画でも配信。アクセス方法は

吉岡町議会

検索





しばさき とくいちろう  
**柴崎 徳一郎** 議員



録画映像は  
こちらをCHECK

## 仮称南下城山 防災公園の 総事業費は

**答** 9年間で約  
9億3276万円

**問** 総事業費は。

**答** 産業建設課長 9年間で約9億3276万円。防衛省からの補助金などを受け、町単独費用は約1億725万円の見込み。

**問** 仮称南下城山防災公園の整備完了に町長の思いは。

**答** 町長 多くの皆さんに親しまれ、後世にも喜ばれるような公園に。

**問** 年間のランニングコストは。

**答** 産業建設課長 概ね600万円。完成後の利活用促進策は。

**問** 年間のランニングコストは。

**答** 産業建設課長 住民らのふれ合いと、子どもたちの防災教育および防災意識を高める場としたい。

**問** 防災公園としての活用は。

**答** 産業建設課長 半径500mの一時避難地、防災訓練実施場所として活用。

**問** 危機管理としての地震対策は。

**答** 町民生活課長 防災ガイド「災害ハザードマップ」を活用していく。

**問** 危機管理としての風水害対策は。

**答** 町民生活課長 同様に防災ガイド「災害ハザードマップ」を活用していく。

**問** 危機管理としての風水害対策は。

**答** 町民生活課長 同様に防災ガイド「災害ハザードマップ」を活用していく。

**問** 学校における防災対策は。

**答** 教育委員会事務局 長 小中学校合同避難訓練の実施などにより、児童生徒自身が考え行動する避難訓練を実施していきたい。

**問** コンパクトな町づくりには。

**答** 産業建設課長 適切な開発誘導が必要になってきている。

**問** 駒寄スマートーCの大型車対応化の事業完成は。

**答** 産業建設課長 先進事例の収集や既存データの把握に努めている。

**問** 希望者に配布したい

**答** 障害者施策でヘルプマークの導入を。健康福祉課長 県要綱案で町が希望者に配布を考えている。

**問** シェアリングエコノミー活用事業とは。

**答** 総務政策課長 自治体における先進的取り組み。

**問** 町で取り組む予定は。

**答** 総務政策課長 民間との共助の発想は必要。

**問** ヘルプマークの導入を

**答** 希望者に配布したい

**問** 産業建設課長 平成32年度中の供用開始を目指す。

**問** JR新駅の検討状況は。

**答** 産業建設課長 先進事例の収集や既存データの把握に努めている。

**問** 産業建設課長 先進事例の収集や既存データの把握に努めている。

**答** 産業建設課長 先進事例の収集や既存データの把握に努めている。

**問** 産業建設課長 先進事例の収集や既存データの把握に努めている。

**答** 産業建設課長 先進事例の収集や既存データの把握に努めている。

**問** 産業建設課長 先進事例の収集や既存データの把握に努めている。



このマークを見かけたら思いやりのある行動をお願いします。



かなや やすひろ  
**金谷 康弘** 議員



録画映像は  
こちらをCHECK

## デ・レイケ 堰堤の認識は

### 答 デ・レイケ 堰堤に感謝

**問** 上野原地区の防災・減災に貢献してきた「デ・レイケ堰堤」。今なお健在の堰堤をどのように認識するか。

**答** 町長 明治初期この堰堤は、火山噴出物でできた脆弱な土地である榛名山麓において、多発する土砂災害から、我々を守るた

めに設置された。吉岡町を含む榛名山麓が、この堰堤などにより守られてきたことは、ありがたいことだ。

**問** 「デ・レイケ堰堤」の砂防・治山の視点からの保全・整備を。産業建設課長 現在まで、良好な状態で残存し、防災機能

を発揮していることは、技術的にも高く評価されている。施設の保全は、砂防・治山の視点においても重要であると認識している。

**問** 自害沢デ・レイケ堰堤と林道栗籠・井堤線との位置関係と保全性は。

**答** 産業建設課長 堰堤下流10mだが、影響がないように配慮して計画している。

**問** 土木学会選奨土木遺産に登録されている「デ・レイケ堰堤」。土木遺産的観点からの保全および整備を。

**答** 産業建設課長 利根川水系砂防事務所調査で「現在まで良好な状態で残存し、防災機能を発揮していることは、技術的にも評価が高く、貴重な文化的価値を有する」と評価している。今後、関係機関との連携を強化しながら維持・保全

など検討。

**問** 町教育委員会での「デ・レイケ堰堤」の全貌調査を。

**答** 教育委員会事務局 長 堰堤が部分的に二級河川や民地であり、調査主体や時期・費用負担など今後の検討課題。

**問** 防災・減災に貢献してきた「デ・レイケ堰堤」。防災教育に活用を。

**答** 教育委員会事務局 長 町では、防災教育に特化した取り組みはないが、社会教育分野での防災教育の題材、ソフト的な取り組みは可能であると思われる。今後機会があれば検討したい。

## デ・レイケ堰堤を町の地域振興に

**答** 町としてできることを考えたい

**問** 「デ・レイケ堰堤」を防災・文化財・教育的観点、総合的な立場から地域振興に役立てるよう検討を。

**答** 総務政策課長 この堰堤は吉岡町だけでなく、日本の近代化の一役を担う目的を

もったもの。その価値を認め、有志の清掃活動なども認識している。この堰堤を榛名東麓の地域の宝とし、活動する人の取り組みを見守りつつ、町としてできることを考えていきたい。



清掃活動で全容が現われた立派なデ・レイケ堰堤





いわさきのぶゆき  
**岩崎 信幸** 議員



録画映像は  
こちらをCHECK

## 空家の 解体撤去費の 補助は

**答** 上限 50 万円で  
年間 3 件まで

**問** 老朽危険空家の解体・撤去費を補助する制度は。

**答** 産業建設課長 平成 31 年度から、1 件の上限 50 万円まで、年 3 件まで。

**問** 都市計画制度の意見交換会での空家対策に関して、参考となる意見はあったか。

**答** 町長 アパートなどの集合住宅が空家の増加につながるため、特定用途制限地域を設定し、予防対策を検討する。

**問** 空家対策で、各種団体と協定しては。産業建設課長 無料相談会を実施。

宅地建物取引士などによる相談を行う。

**問** 相乗り推奨タクシー「あいタク」の利用状況と利用者の感想は。

**答** 総務政策課長 申請者数 52 人、利用者 27 人。1 年分最大 48 枚を一括交付して、好評を得ている。

**問** 運賃や運行方法で改善があるのでは。

**答** 総務政策課長 超高齢者社会を迎えるに当り、行政がどこまで負担できるか検討する。

**問** 不登校への対応に、児童相談所との連携はなされているか。

**答** 健康福祉課長 児童相談所が町からの相談を受けた児童は 18 件。協議会を年 1 回、実務者会議月 1 回、ケース会議を随時開催。

## 道の駅よしおか温泉の今後を危惧

**答** 複合施設として、他との差別を図る

**問** 前橋市が上武国道沿いに設置予定の運動公園を兼ね備えた複合施設として、他の道の駅との差別化を図る。

**答** 産業建設課長 温泉、物産館、緑地



複合施設としての差別化が求められる道の駅よしおか温泉

**問** リバートピア吉岡とゴルフ場の約 1 年間の経営状況は。

**答** 町長 1 月現在前年比で、入館者数は 8544 人増で、純利益は 155 万円増。ゴルフ場は猛暑の影響で前年比 97% となった。

**問** 障害者手帳を保有する人数は。

**答** 健康福祉課長 身体障害者 631 人、知的障害児(者) 142 人、精神障害者 112 人、計 885 人。

**問** 手話言語条例の制定を。

**答** 健康福祉課長 手話通訳者の養成や雇用を含めた環境を整備していく。

**問** 住・藤塚線を整備して、通学路の安全対策を。

**答** 町長 水路本体の改良が必要。介護施設南側の十字路は、安全を踏えて効果的な対応を取る。



さ か た かずひろ  
坂田 一広 議員



録画映像は  
こちらをCHECK

## 町の財政状況 町長の見解は

### 答 将来世代に 負担が少ない 状況

**問** 町の財政の現状について、町長の見解は。

**答** 町長 類似団体に比べ、負債が少ない。将来世代の負担が少ない状況。財政調整基金を活用し、世代間負担の公平性に配慮しながら、町債についても有効に活用し、町の

将来に向けての投資をしたい。

**問** 公会計による財務書類から導かれる指標はどうなっているか。

**答** 財務課長 住民1人当たりの資産額は約130万円で、類似団体平均より少ない。施設などの固定資産は、

類似団体に比べ、老朽化が進んでいない。将来世代への負担は、類似団体に比べ少ない。住民1人当たりの負債額は約28万円で、類似団体平均の約38万円を下回る。また、1人当たりの行政コストは約29万円で、類似団体平均の約31万円を下回る。受益者負担割合も類似団体平均より低い。

**問** 公会計による財務書類を公共施設管理などに活用できないか。

**答** 財務課長 ※セグメント分析などの検討を進め、活用したい。

**問** 町の負債のうち交付税措置されるものはどれくらいか。

**答** 財務課長 平成30年度予算ベースで、町債残高は約82億円。そのうち推計で約54億円が交付税措置される見込み。

**問** 町の財政調整基金の適正規模はどれくらいか。

**答** 財務課長 標準財政規模の20%に、繰り替え運用分を加算した18億円から20億円が適正と考える。

**問** 金融機関への預金で管理している町の資金について、ペイオフ対策はできているか。

**答** 会計課長 各金融機関からの借入金と預金の割合についてバランスを考慮し、管理運用している。

#### 三三解説

※セグメント分析  
地方自治体の場合は、整備した財務書類を予算編成や行政評価、公共施設マネジメントに活用するために、事業別・施設別などの分析を行うこと。

### 下野田下小倉線の雑草対策は

**答** 優先順位を早め追加作業も検討

**問** 町道下野田下小倉線の植栽部分に、夏になると雑草が1m近い高さで繁茂するが。

**答** 町長 除草作業の優先順位を早めるとともに、必要に応じて追加作業も検討。

**問** セットバック後の後退用地を寄付する場合の費用負担は。

**答** 産業建設課長 移転登記については原則町が負担。



夏になると1mほど草が生い茂る町道下野田下小倉線の植栽部分。夏草が死角をつくり危険だ。





いいじま 飯島 まもる 衛 議員



録画映像は  
こちらをCHECK

## あんしんカード 配布の拡大を

**答** 希望者に  
配布したい

**問** 家族のいる高齢者にも拡大できないか。  
**答** 健康福祉課長 家族の留守時に災害、事故なども懸念されることから、広報やホームページなどを活用し、希望者がいれば配布できるよう検討。  
**問** 通称あんしんカードの配布を実施しているが、利用状況は。  
**答** 町長 あんしんカードは65歳以上の1人暮らしと75歳以上の高齢者世帯といった訪問調査の対象者や、民生児童委員の判断で必要と思われる人に配布している。

**問** フォトリポの導入を望むが。  
**答** 総務政策課長 比較的安価な利用料もなく運用できるのとこのため、導入に向け

**問** て調査研究したい。  
**答** コンビニエンスストアでの証明書などの発行を望む。  
**答** 総務政策課長 マインバーカードの交付率が県下でも下位

### ※ フォトリポの導入を

**答** 導入に向けて検討したい



現在使われている「あんしんカード」

**問** あんしんカードの情報に救急車に伝える取り組みを。  
**答** 健康福祉課長 あんしんカードを活用

した連携について関係機関と調整し仕組みづくりの導入について検討したい。



荒れ放題の所有者不明墓地

であり、職員の負担軽減も見込めない状況のため検討が必要。  
**問** 防犯灯の設置は通学路を優先に。  
**答** 町長 自治会と協議の上設置を実施したい。

**問** 所有者不明で荒れ放題の墓地の対処は。  
**答** 町長 所有者を調べ管理を要請。

※解説  
道路や遊具の破損などの状況をアプリを使い、スマートフォンやタブレット端末で写真を自治体に送り問題解決につなげる。



い が ら し よ し か ず  
五十嵐 善一 議員



録画映像は  
こちらをCHECK

## コンセッション 方式の導入は

**答** 現行体制の  
事業運営が  
最善と考える

**問** コンセッション方  
式導入の考えは。  
**答** 上下水道課長 現  
時点では、現行体  
制を維持した上での事  
業運営が最善と考える。  
**問** 上野原浄水場、第  
1 浄水場の改修・  
耐震化対策は。  
**答** 町長 共に満足す  
る耐震レベルには

ない。上野原浄水場は  
平成33年から35年で耐  
震化の改修を実施予定。  
**問** 配水池7カ所の耐  
震化の有無は。  
**答** 上下水道課長 2  
カ所が耐震化済  
み、残りは未実施。  
**問** 耐用年数を超えた  
水道管の割合は。  
**答** 上下水道課長 平  
成30年度に、河川  
氾濫に関する群馬県減  
災対策協議会の北群馬  
渋川地域部会で、作成  
に向けて検討。

**答** 上下水道課長  
34・35%、管路延  
長にして69・2 kmであ  
る。

**問** 水道管の耐震適合  
率は。  
**答** 上下水道課長  
9・53%、管路延  
長にして19・195 km  
である。

**問** 配水管漏水事故の  
発生件数は。  
**答** 上下水道課長 平  
成29年度31件、28  
年度32件であった。

**問** 水質検査業務の委  
託先と選定方法は。  
**答** 町長 一般社団法  
人群馬県薬剤師会  
で、毎年度指名競争入  
札を実施。

**問** 基幹施設の簡易耐  
震診断結果は。  
**答** 上下水道課長 取  
水から送水までの、  
一連のシステムとして  
の耐震評価は、平成28  
年度末で0%、7カ所  
の配水池耐震化率は配  
水池容量で52・4%。

**問** 児童生徒の登下校  
時の荷物軽減対策  
を。  
**答** 教育長 これまで  
も学校と連携し、  
さまざまな負担軽減策  
に取り組んできた。

**問** 「置き勉」を積極  
的に認めては。  
**答** 教育委員会事務局  
長 児童生徒が家  
族と防災について相談  
できるような指導を工  
夫し、地域と学校との  
連携を図っていきたい。

**問** 教育委員会事務局  
長 これまでの学  
校の取り組みや、文科  
省から示された工夫例  
などを踏まえ、引き続  
き検討。

### 三三解説

※コンセッション方式  
水道事業者が、施設の  
所有権を有したまま、  
運営権を民間事業者と  
契約し、移行するもの。

## タイムラインの導入を

**答** 作成に向けて検討を開始

**問** 地域防災計画にタ  
イムラインの導入  
を。  
**答** 町民生活課長 平  
成30年度に、河川  
氾濫に関する群馬県減  
災対策協議会の北群馬  
渋川地域部会で、作成  
に向けて検討。

**問** 地区防災計画の現  
状、今後の推進策  
は。  
**答** 町民生活課長 町  
内での作成報告は  
ない。今後、普及・啓  
発について検討したい。

**問** 地域防災と学校の  
連携を。  
**答** 町民生活課長 町  
内での作成報告は  
ない。今後、普及・啓  
発について検討したい。



耐震化改修が待たれる上野原浄水場





こいけ はるお  
**小池 春雄** 議員



録画映像は  
こちらをCHECK

## 福祉・相乗り すいしょう 推奨タクシー の改善を

## 答 前向きに検討

**問** 町では、現在、福祉タクシー制度と相乗り推奨タクシー制度がある。どちらも利用が少ないのが現実。制度として作った以上は利用されてこそ意義がある。

**答** 町長 どちらの制度でも、その趣旨をいただいた上で、徒歩で外出が困難な人の移動を経済的に支援できるように取り組んでいきたい。

**問** 福祉タクシーは、この制度ができてから10年が経過している。相乗り推奨タクシーと2つの制度があり、総務政策課と健康福祉課とそれぞれ所管が違っている。縦割り行政を排し、1回千円になれば利用者がとって、使い勝手が良くなると思うが。

**答** 町長 前向きに検討。

**問** 町独自の奨学金利息への助成を

**答** 国への支援策を注視

**問** これまで町独自の奨学金制度の創設を求めてきたが、納得のいく回答が得られていない。そこで奨学金に対する利息の補助、あるいは助成制度を実施してはと思うが。

**答** 教育長 家庭の経済的な理由で子どもたちが進学を断念することのないよう、国が支援策を講じることになっていて、これを注視したい。

**問** 町のふるさと納税では、平成29年度550件で712万円。榛東村では、7万4千件で6億円。英知を集めて真剣に取り組むべきでは。

**答** 町長 ふるさと納税については、吉岡町は少し出遅れたような感がある。町から出ていくふるさと納税が他市町村に行っているわけなので、それを上回る施策をこれからも考えていきたい。

平成30年度 吉岡町相乗り推奨タクシー利用助成券

有効期限	平成31年 3月 31日
利用者氏名	吉岡 太郎
	利用者No. 1

交付年月日 平成30年 4月 1日 吉岡町 長

様式第2号

平成30年度 吉岡町福祉タクシー利用券 No.1

自治会 交付者番号

注 意

- 1 本券は本人の添削以外使用できません。
- 2 本券は平成31年3月31日まで有効。
- 3 本券により、基本料金を吉岡町が利用者に代わって負担します。
- 4 本券は、乗車1回につき、1枚のみ有効です。

発行者 吉岡町長 石 関 昭

平成 年 月 日使用

使用者署名欄

③この券を使用できるのは、群馬県タクシー協会茨城地区タクシー協議会及び前橋地区タクシー協議会に加盟の事業所だけです。

利用しやすい制度への改善が求められる相乗り推奨タクシー利用助成券と福祉タクシー利用券